

平成28年度当初予算案主要事項説明

(平成27年度2月補正予算含む)

教育委員会

事業名	京都市「学力向上教育サポーター」事業費		
予算額	131,905千円 (うち2月補正 44,714千円)	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>● 京都市「効果のある学校」推進事業 新規 <2月補正> 13,000千円</p> <p>1 目的 困難な状況に置かれている児童生徒をはじめ、すべての児童生徒の基礎学力の充実と希望進路の実現をめざす学校モデルを構築する。</p> <p>2 内容 小中学校に「学校体制づくり」、「発達障害・不登校」、「幼児教育」の3分野の専門家チーム（「教育力向上型」サポーター）を派遣するとともに、学区の地域をつなぐ「地域ネットワーク型」サポーターを配置し、学力課題の調査・分析や指導、地域のネットワークづくりを実施</p> <p>● 子どもの学習・生活支援プラットフォーム事業 <一部2月補正></p> <p>(1) 31,714千円 (2) 87,191千円</p> <p>1 目的 (1) 福祉等の専門家を学校に派遣し、必要な学習支援、福祉施策につなぐためのケース会議を開催できる体制を整備する。 (2) 府内の小・中学校に「まなび・生活アドバイザー」を配置することにより、児童生徒の基本的な生活習慣の確立及び学習習慣の定着を図る。</p> <p>2 内容 (1) 子どもの状況に応じて、教育的、福祉的観点から学習・生活支援策を検討・実施できるよう、学校に社会福祉士、臨床心理士等を派遣 <2月補正> (2) 小・中学校に「まなび・生活アドバイザー」を配置し、子どもの生活・学習習慣の確立を支援（㊸小学校21人、中学校18人）</p>		
担当課名	学校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5840